

# 2024年3月期 第3四半期決算説明資料

2024年2月6日

- (1) サマリー
- (2) 2024年3月期 第3四半期業績
- (3) セグメント別 売上高・営業利益 (対 前年同期 増減・要因分析)
- (4) セグメント別 事業概況 (対 前年同期)
- (5) セグメント別 事業概況 (対 予想)
- (6) 今後の成長に向けたアクション
- (7) 連結貸借対照表
- (8) Appendix

売上高 4,143億円、営業利益 445億円、純利益 442億円、EBITDA 678億円

## 対前年同期

### 増収 (+2.4%) 営業増益 (+21.7%)

- 電子材料関連市場の需要低迷の影響を受けるも、自動車生産の回復やアセテート・トウの価格是正、為替影響などにより、売上高は増加
- アセテート・トウの販売価格是正、原燃料価格の低下、為替影響などにより営業利益・EBITDAは増加
- 政策保有株式の売却により、親会社株主に帰属する四半期純利益は増益

## 対予想※

### 売上高は予想並み、営業利益は予想を上回る進捗

- 電子材料関連市場の需要回復が想定を下回ったものの、為替が円安で推移したことなどにより、売上高は予想並み
- 収益改善施策の確実な実行や為替影響（想定より円安）に加えて、一酸化炭素プラント稼働時期変更（23年12月⇒24年2月）の影響などにより営業利益・EBITDAは予想を上回った

※ 2023年11月2日に発表した業績予想です。なお、2024年3月期第3四半期累計の業績予想値は公表しておりません。

現時点で確認・想定する通期業績への影響を考慮し、2023年11月2日に発表した数値を据え置く  
なお、能登半島地震が業績に与える影響は軽微

（売上高 5,620億円、営業利益 610億円、純利益 540億円、EBITDA 970億円）

## 2023年11月2日発表の通期業績予想前提からの主な変化点

### ■ 市場環境の変化

- 電子材料関連製品の需要低迷の継続
- 液晶ディスプレイ市場の回復の遅れ
- 中国などの自動車生産台数の下振れ懸念

### ■ 変化する市場環境への対応

- セイフティ事業のコストダウンの積み増し
- アセテート・トウの2024年販売価格の現行水準維持
- POMのディストリビューターを活用した戦略的販売の積み増し

### ■ 為替レートが想定より円安で推移（前提は135円/USD）

### ■ 一酸化炭素プラント稼働時期を変更

- 一酸化炭素プラントの更新について、試運転期間中に確認された不具合の改善やオペレータの作業負荷低減などを目的とした追加工事を実施するため、稼働時期を12月から2月に変更（今期の減価償却費は減少）

# 2024年3月期 第3四半期業績



	2023/3 3Q実績	2024/3 3Q実績	対前年同期		通期予想	進捗率
			増減	増減率		
売上高	4,045	4,143	+98	+2.4%	5,620	73.7%
営業利益	366	445	+79	+21.7%	610	72.9%
経常利益	398	482	+84	+21.1%	655	73.5%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	295	442	+147	+49.6%	540	81.9%
為替レート USD/JPY	137	143				
<b>EBITDA</b>	<b>587</b>	<b>678</b>	<b>+91</b>	<b>+15.4%</b>	<b>970</b>	<b>70.0%</b>

単位：億円

# セグメント別 売上高・営業利益（対前年同期 増減・要因分析）

単位：億円	売上高							売上高 通期予想 進捗率
	2023/3 3Q実績	2024/3 3Q実績	増減	増減率	分析			
					数量差	単価差	単価差の内 為替影響	
メディカル・ヘルスケア	124	105	△ 19	△15.3%	△ 24	+5	+4	75.0%
スマート	232	226	△ 6	△2.5%	△ 10	+4	+2	68.6%
セイフティ	621	727	+106	+17.1%	+86	+20	+10	75.8%
マテリアル	1,176	1,349	+173	+14.7%	△ 91	+264	+52	74.7%
エンジニアリングプラスチック	1,831	1,695	△ 135	△7.4%	△ 95	△ 41	+45	72.8%
その他事業	61	40	△ 21	△34.4%	△ 21	-	-	73.2%
合計	4,045	4,143	+98	+2.4%	△ 154	+251	+114	73.7%

単位：億円	営業利益							営業利益 通期予想 進捗率	
	2023/3 3Q実績	2024/3 3Q実績	増減	増減率	分析				
					数量影響	価格影響	その他		営業利益の内 為替影響
メディカル・ヘルスケア	13	9	△ 4	△30.3%	△ 0	+3	△ 7	+2	90.9%
スマート	△ 2	△ 18	△ 16	-	△ 1	+3	△ 18	+0	-
セイフティ	14	24	+10	+74.2%	+29	△ 4	△ 15	+0	55.5%
マテリアル	129	307	+178	+137.5%	△ 19	+276	△ 80	+26	81.8%
エンジニアリングプラスチック	209	121	△ 87	△41.9%	△ 63	△ 16	△ 9	+13	63.8%
その他事業	3	2	△ 1	△32.5%	△ 1	-	-	-	70.7%
合計	366	445	+79	+21.7%	△ 54	+262	△ 129	+41	72.9%

※ 比較のため、2023年3月期実績は、以下のセグメント変更を反映

・化粧品原料1,3-BG（メディカル・ヘルスケア→マテリアル） ・新規投与デバイス研究開発機能（セイフティ→メディカル・ヘルスケア）

# セグメント別 営業利益（対 前年同期 増減・要因分析）

		営業利益		
単位：億円		分析	増減	増減要因
メディカル・ヘルスケア	数量影響	△0	△ ヘルスケアの販売数量は増加。ライフサイエンスは受託分離サービスが減少	
	価格影響	+3	+ 為替影響	
	その他	△7	△ マーケティング強化に伴う費用増	
スマート	数量影響	△1	△ TACの販売数量は増加も、機能フィルム、電子材料向け溶剤、フォトレジスト材料は減少	
	価格影響	+3	+ パルプなど原料価格上昇に伴い販売価格を是正	
	その他	△18	△ 電子材料向け溶剤増産プラント稼働に伴う償却費など経費増加、在庫影響	
セイフティ	数量影響	+29	+ インフレータの販売数量増加、操業度上昇	
	価格影響	△4	△ 販売価格是正を進めるも原材料価格上昇が先行	
	その他	△15	△ 生産地統廃合に伴う費用や生産量増加に伴う費用など経費増加	
マテリアル	数量影響	△19	△ 酢酸・酢酸誘導体、過酢酸誘導体などの販売数量減少	
	価格影響	+276	+ アセテート・トウの販売価格是正、為替影響	
	その他	△80	△ 在庫影響	
エンジニアリングプラスチック	数量影響	△63	△ 主に第1四半期の販売数量減少	
	価格影響	△16	△ 原料価格低下に伴う販売価格低下および拡販のための戦略的価格設定	
	その他	△9	△ マレーシア拠点の大型定期修繕費用、在庫影響	

※ 比較のため、2023年3月期実績は、以下のセグメント変更を反映

・化粧品原料1,3-BG（メディカル・ヘルスケア→マテリアル）・新規投与デバイス研究開発機能（セイフティ→メディカル・ヘルスケア）



# セグメント別 事業概況（対 前年同期（4月～12月））

セグメント	主要市場	市場環境	当社の状況
メディカル・ヘルスケア	ライフサイエンス	キラル関連製品の需要は海外市場を中心に堅調に推移	キラル関連製品は、充填剤の販売数量を伸長 受託分離サービスは、前年同期にあったスポット案件の影響で減少
	コスメヘルスケア	中国市場の回復は想定よりも遅れているが、国内市場はコスメ、健康食品共にインバウンド増加などの回復傾向が継続	インバウンド増加の機をとらえ、コスメの販売数量を伸長 健康食品は注力する腸内代謝物を中心に好調
スマート	電子デバイス半導体	液晶パネルは、前年から継続していた在庫調整が進み、中国・台湾メーカーの需要は回復傾向にある。 半導体市場は需要低迷が継続	TAC※は、パネルメーカーの在庫調整の解消や海外メーカーへの拡販を進め、販売数量が増加。機能フィルムは、中国市場での車載ディスプレイ用途や、燃料電池用途で拡販したが、特殊モニター用途の基材変更対応遅れの影響により減少 電子材料向け溶剤・フォトレジスト材料は、液晶パネル市場で需要回復の兆しが見えるものの、半導体市場の需要低迷の影響を受けて販売数量が減少
セイフティ	自動車	自動車生産台数は、中国ロックダウンの影響を大きく受けた前年同期と比較して増加	自動車生産台数増加に加え、新規獲得プログラムの販売開始もあり、インフレータの販売数量は増加 計画通り2023年10月に、北米ケンタッキー拠点のインフレータ製造を終了。インド新製造拠点が商業運転開始

※TAC（Tri-acetyl cellulose）： 液晶表示フィルム向け三酢酸セルロース



# セグメント別 事業概況（対 前年同期（4月～12月））

セグメント	主要市場	市場環境	当社の状況
マテリアル	樹脂・インク 用原料 塗料用溶剤	PTA・VAMや液晶ディスプレイ・電子材料用途の需要は、前年度下期からの低迷が継続。酢酸市況も前年度から引き続き軟調に推移	需要低下の影響を受けて、酢酸、酢酸誘導体の販売数量は減少 販売価格も酢酸市況低下の影響により弱含みで推移
	繊維 フィルター	世界のたばこ生産本数は対前年度に引き続き横這いを見込むも、加熱式たばこ用の需要増からアセテート・トウ需要は堅調に推移	アセテート・トウは、生産性向上により供給能力を拡大 3Q累計の販売数量は期ズレにより減少したが、通期では前年度の販売数量を上回る見通し 需要増加に伴う販売価格の是正
	電材・ コーティング 用原料	カプロラクトン誘導体は、ウレタン既存用途の中国向け需要が低下。脂環式エポキシは、電子基板、液晶ディスプレイ用途の需要が前年度に引き続き低調に推移	カプロラクトン誘導体は中国向け需要低迷により販売数量が減少 脂環式エポキシは市場の回復遅れにより販売数量が減少
	コスメ	中国市場の回復は想定よりも遅れているものの、国内市場はインバウンドの影響もあり回復傾向が継続	国内市場の回復と海外市場におけるシェア拡大により1,3-BGの販売数量を引き上げ
エンジニアリング プラスチック	自動車部品	グローバルでの自動車生産台数は前年同期を上回った。前年から継続していた顧客の在庫調整は2Q初めに解消し、需要は堅調に推移	1Qまでの自動車部品用途の在庫調整や、電子デバイス用途の需要減速の長期化により、全体として前年同期比で数量減となっているが、2Q以降の自動車部品用途の需要回復や、失地需要奪還の取組などにより、販売数量を巻き返し中
	電機・電子 ・精密機器	スマートフォンやパソコンなどの電子デバイス、家電、サーバーなど通信インフラ設備関連の生産は前年度からの低迷が継続	

# セグメント別 事業概況（対 予想（10月～12月））

<p>メディカル・ヘルスケア</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>キラル関連製品は、インドにおけるサービス事業が計画を下回るも、充填剤販売は計画より増量</li> <li>コスメの販売数量は中国向け販売が計画を下回るも、健康食品事業はインバウンド需要の増加をとらえ計画以上の拡販</li> </ul>
<p>スマート</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>TACは、液晶パネルメーカーの稼働が回復傾向にあるものの、主用途のTV需要回復には遅れが見られる。その中で、海外顧客向けの拡販を推進し販売数量は計画より増加</li> <li>機能フィルムは、車載ディスプレイ用途向けを増加させたものの、特殊モニター用途の基材変更対応遅れの影響により、販売数量が計画より減少</li> <li>電子材料向け溶剤、フォトレジスト材料は、半導体向け需要が想定以上の低迷</li> </ul>
<p>セイフティ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一部日系自動車メーカーの生産台数調整や中国自動車メーカーの生産が計画前提を下回った影響で、インフレータの販売数量は未達</li> </ul>
<p>マテリアル</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>酢酸は、スポット販売など拡販の取り組みや、酢酸原料プラント商業運転開始時期変更に伴う販売調整時期の変更により、販売数量が計画を上回った。また、酢酸市況は想定よりも高い水準で推移</li> <li>酢酸誘導体は酢酸エチルの市況価格上昇を捉え、計画以上の売上</li> <li>アセテート・トウは、期ズレによる販売数量の計画比減少</li> <li>カプロラクトン誘導体は市場環境悪化より対計画で販売数量未達</li> <li>脂環式エポキシの販売数量は計画並み</li> <li>1,3-BGの化粧品需要は想定より低調だが、シェア拡大に向けた拡販により販売数量は計画並み</li> </ul>
<p>エンジニアリングプラスチック</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>POMの自動車向け販売数量は計画通り。自動車以外では欧米・ASEANでの需要回復の遅れを中国の諸工業向けを中心としたリカバリー販売により巻き返し、計画通りの販売数量を達成</li> <li>自動車用途が中心のPBT、PPSの販売は計画並みの数量を確保</li> <li>LCPは、スマホなどの電子デバイス需要の低迷が続き、販売数量は計画未達</li> <li>COCは主要顧客の生産計画変更により販売数量が未達</li> </ul>

各事業において下記のアクションを加速させることで、今期の業績予想を確実に達成するとともに、来期以降のさらなる成長につなげる

## メディカル・ヘルスケア

- 成長するインドの合成サービス事業の強化、中国分取サービスの顧客との連携強化による稼働率向上と販売促進
- 資本参加したPharmaJet社とともに欧米の国際学会での共同プロモーション活動を本格化、アクトランザ®ラボの海外販売強化による世界の無針注射器市場の育成を推進
- ダイセルメディカルの医療機器製造販売業許可および医療機器薬事承認取得の推進
- マイクロプラスチック代替となるコスメ原料、健康寿命延伸に向けた健康食品素材など社会課題解決につながるアイテムの創出を加速

## スマート

- TACは、製法改善（二段解砕・ドープロ過）による品質改善や低コスト原料の使いこなしで、TAC市場でのシェア拡大、合成系フィルムに対するTACフィルムの競争力強化、原料・製品在庫の削減を推進
- 電子材料向け溶剤は、高品質と増強投資による供給能力を強みに、従来の主用途であるレジスト向けに加えて、その他の半導体関連用途の拡販、北米など新規海外顧客を開拓
- フォトレジスト材料は、自社でモノマーから設計・合成できる特徴を強みに、顧客との関係強化によるEUVの実績拡大、液浸ArFのメモリー・ロジック用途の販売を拡大。FPD用途は海外市場に拡販
- 機能フィルムは、譲受した亀岡工場の設備をフル活用し、成長市場である車載ディスプレイ用途でのシェア拡大に加え、PFAS対応素材を強みとした離型フィルムを拡販
- オプティカルレンズは、スマホなど電子デバイス用途での採用の強化と共に、微小化・耐熱リフロー対応の強みを生かし内視鏡用など新用途を開拓

各事業において下記のアクションを加速させることで、今期の業績予想を確実に達成するとともに、来期以降のさらなる成長につなげる

## セイフティ

- インフレータはインドや中国ローカルOEM向けでの拡販により、2024年3月期に続き2025年3月期も過去最高の販売個数を実現
- グローバルの各拠点にて継続したコストダウンを徹底するとともに、部品、生産設備の現地調達化による投資コスト抑制、生産ライン立ち上げ期間の短縮を推進
- 2025年3月期に欧州EV向け電流遮断器を量産開始。主戦場の欧州・中国での拡販。
- EV用途以外でも、クリーンエネルギー向け蓄電池の電流遮断器や、規制が進む交通弱者保護のためのボンネットリフターも、欧州と中国の販路開拓を強化

## マテリアル

- 酢酸セルロースは、製法改善(二段解砕、ドープ濾過)による品質向上やコストダウン、在庫削減による競争力・収益力の強化を推進
- アセテート・トウは、現行の各生産拠点での最適生産により更なる生産性・供給能力を向上
- カプロラクトン誘導体の塗装保護フィルム、脂環式エポキシのOLED封止材や新規FRP用途向けなど高付加価値領域での拡販、北米や中国などテクニカルサービス拠点の拡充によるグローバルでの販売強化
- 1,3-BGは、生産能力増強に伴う高品質・安定供給による国内高付加価値分野での販売強化、並びに中国・欧米でのシェア獲得
- バイオマス素材であり生分解性を持つ酢酸セルロースの特徴を活かし、さらなる技術改良によりCAFBL®ブランドとしての事業化を加速

各事業において下記のアクションを加速させることで、今期の業績予想を確実に達成するとともに、来期以降のさらなる成長につなげる

## エンジニアリング プラスチック

- 2025年3月期稼働の中国POM新プラント、台湾LCP新プラントによる新規ビジネス獲得とシェア拡大
  - 成長市場xEV、5G/6Gの新規用途開拓に向けた中国テクニカルソリューションセンターの機能拡大（材料開発~製品評価までの一貫支援体制構築）
  - ターゲットとする用途分野に適合したグレードラインナップの拡充による新規市場開拓
  - 将来の高周波デバイスに要求される特性に合致した新規LCPポリマーの開発
  - 当社供給能力不足時に失った顧客の奪還
  - 中国、インドをターゲットとした現地ディストリビューターを活用したPOMの戦略的拡販
- 医療や環境など新規事業の創出・拡大による社会貢献
  - 新領域（医療用POM、バイオ由来原料を活用したPOM）事業の成長加速
  - リサイクル可能な包装材、医療用途で成長しているCOCについて、既存プラントの生産性向上と次期プラントの早期稼働による成長加速
  - バイオ由来原料を活用したLCPの開発
  - 低カーボンフットプリントのセルローズ長繊維による環境対応型長繊維強化樹脂グレードの開発、事業展開
  - 市場からの回収樹脂を利用したリサイクルビジネスの確立
- ダイセル式生産革新の国内外拠点への展開による徹底したコストダウンとGHG排出削減による環境性能向上



# 連結貸借対照表

		2023年 3月末	2023年 12月末	増減
単位：億円				
流動資産		4,066	4,107	+41
	現預金及び有価証券	938	893	△ 46
	受取手形及び売掛金	1,015	1,066	+51
	棚卸資産	1,772	1,800	+29
	その他	341	348	+7
固定資産		3,590	3,945	+355
	有形固定資産	2,561	2,905	+344
	無形固定資産	112	112	+0
	投資その他資産	917	928	+11
資産合計		7,656	8,052	+396
負債		4,552	4,623	+71
	有利子負債	3,220	3,228	+8
	その他	1,332	1,395	+63
純資産		3,104	3,429	+325
負債純資産 合計		7,656	8,052	+396

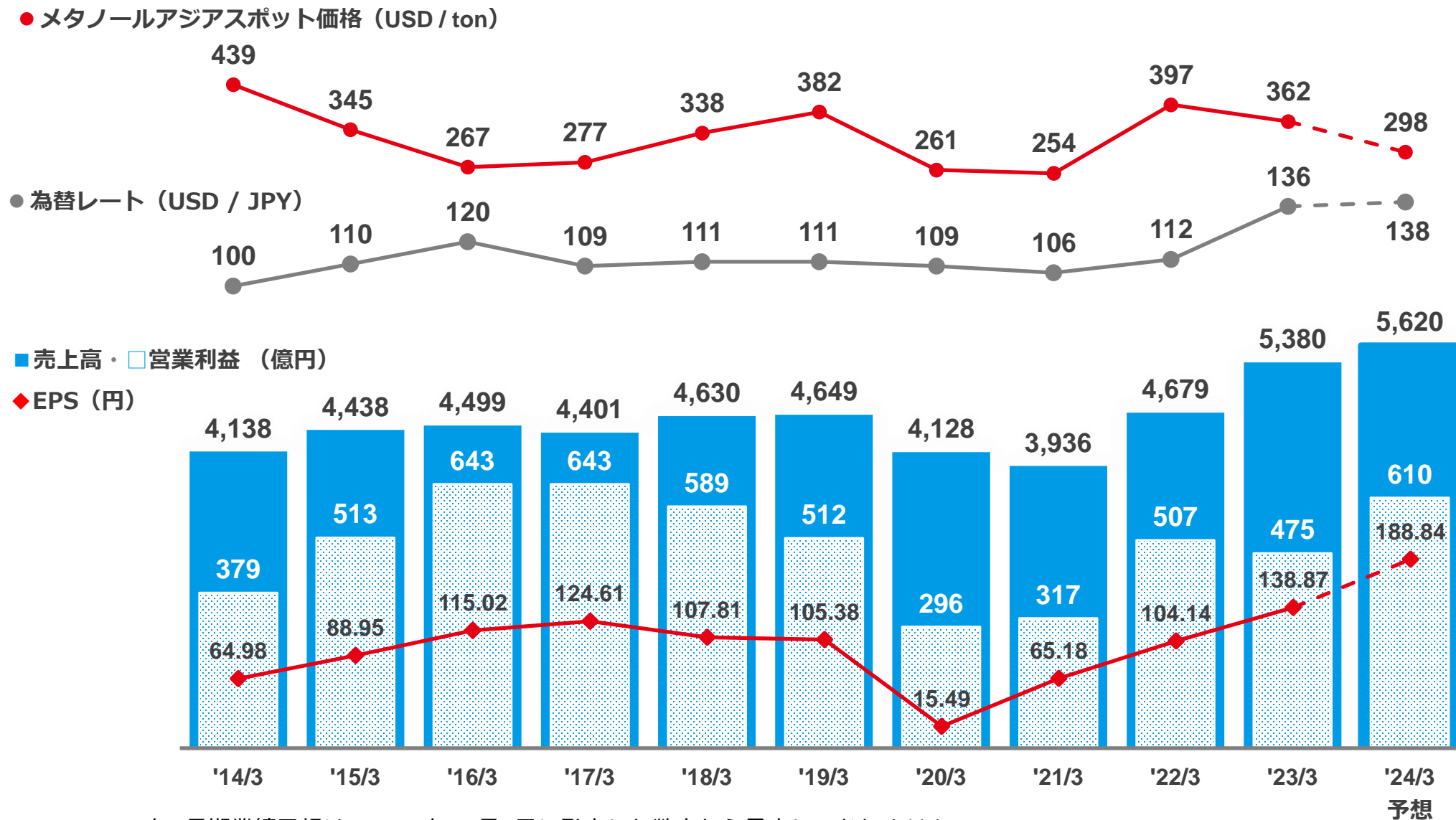
- 総資産増加額396億円のうち、204億円が為替影響
- 棚卸資産増加額のうち32億円が為替影響
- 有形固定資産増加の主な要因は、ポリプラスチックグループのPOM・LCP・COC製造能力増強投資
- 投資その他資産は、アセットライトの取り組みの一環として政策保有株式の一部を売却した一方、時価評価額の増加により増加

# Appendix

---



# 売上高・営業利益・EPSの推移



※ 2024年3月期業績予想は、2023年11月2日に発表した数字から見直しておりません。

# セグメント別 売上高・営業利益（四半期推移）

単位：億円	売上高						
	2023/3				2024/3		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
メディカル・ヘルスケア	40	41	44	42	34	35	36
スマート	96	66	71	64	75	71	79
セイフティ	178	220	224	219	224	247	256
マテリアル	361	391	424	432	460	451	437
エンジニアリングプラスチック	587	648	595	550	503	584	608
その他事業	18	17	26	29	12	13	15
合計	1,280	1,383	1,383	1,335	1,308	1,402	1,433

単位：億円	営業利益						
	2023/3				2024/3		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
メディカル・ヘルスケア	4	4	6	△ 0	3	2	4
スマート	11	△ 8	△ 6	△ 4	△ 6	△ 5	△ 7
セイフティ	△ 2	2	14	△ 9	△ 7	5	25
マテリアル	50	54	25	78	94	117	96
エンジニアリングプラスチック	66	79	64	44	7	54	60
その他事業	1	0	2	0	△ 0	2	1
合計	130	130	105	109	91	175	179

※ 2023年3月期実績は、以下のセグメント変更を反映

・化粧品原料1,3BG（メディカル・ヘルスケア→マテリアル） ・新規投与デバイス研究開発機能（セイフティ→メディカル・ヘルスケア）

# 2024年3月期通期業績予想

単位：億円

	2023/3 実績			2024/3 業績予想			増減
	上期実績	下期実績	年間	上期実績	下期予想	年間	
メディカル・ヘルスケア	80	86	166	69	71	140	△ 26
スマート	162	134	296	147	183	330	+34
セイフティ	397	442	840	471	489	960	+120
マテリアル	752	855	1,608	911	894	1,805	+198
エンジニアリングプラスチック	1,236	1,145	2,381	1,087	1,243	2,330	△ 51
その他事業	35	55	91	25	30	55	△ 36
<b>売上高</b>	<b>2,662</b>	<b>2,718</b>	<b>5,380</b>	<b>2,710</b>	<b>2,910</b>	<b>5,620</b>	<b>+240</b>
メディカル・ヘルスケア	7	6	13	5	5	10	△ 3
スマート	4	△ 10	△ 6	△ 11	0	△ 11	△ 5
セイフティ	0	5	5	△ 1	44	43	+38
マテリアル	104	103	207	211	164	375	+168
エンジニアリングプラスチック	145	108	253	61	129	190	△ 63
その他事業	1	2	3	1	2	3	+0
<b>営業利益</b>	<b>260</b>	<b>215</b>	<b>475</b>	<b>266</b>	<b>344</b>	<b>610</b>	<b>+135</b>
<b>経常利益</b>	<b>302</b>	<b>218</b>	<b>520</b>	<b>307</b>	<b>348</b>	<b>655</b>	<b>+135</b>
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>	<b>222</b>	<b>185</b>	<b>407</b>	<b>298</b>	<b>242</b>	<b>540</b>	<b>+133</b>
(参考) 為替レート USD/JPY	134	137	136	141	135	138	

※ 2024年3月期業績予想は、2023年11月2日に発表した数字から見直しておりません。

# 為替レート・主要原燃料価格動向

		2023/3 実績		2024/3 実績+計画		
		上期実績	下期実績	上期実績	下期計画	3Q(10-12)実績
為替レート (USD/JPY)		134	137	141	135	148
原料	メタノール アジアスポット価格 (USD/ton)	374	349	295	300	316
	原油 ドバイ (USD/bbl)	102	83	82	85	84
	国産ナフサ (円/kl)	83,750	69,500	65,550	67,000	72,800

## 予測に関する注意事項

- 本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料（業績計画を含む）は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。
- ご使用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。

本資料の著作権は株式会社ダイセルに帰属します。

いかなる理由によっても、当社に許可無く資料を複製・配布することを禁じます。